

リハビリテーション (Rehabilitation) とは

Re (再び) habilis (適した) ation (にすること) で、「再び適した状態にすること」を意味しています。
思いがけない病気や外傷、あるいは老化現象などさまざまな原因によって生じた心身の障害や、それに伴う日常生活での不憫さが生じたときに、自立した元通りの生活、または以前の生活に近い状態に戻していくことです。

当院ではリハビリテーション部門として理学療法、作業療法、言語聴覚療法があります。今回は言語聴覚療法について紹介します。

言語聴覚療法 (ST) とは?

主として言語機能 (話すこと、相手の話す内容を理解すること) や聴覚機能が低下し、コミュニケーションに問題が生じた方や、摂食・嚥下機能 (食べること) に障害がある方に対し、機能の回復、能力の向上を図ることを目的としています。
各種検査や評価を行い、個々の症状に合わせた訓練 (言語訓練・嚥下訓練)、残存能力を利用した日常生活および社会生活を営むための援助、患者さんやそのご家族に対する症状の説明、また心理的ケアなど様々な側面からリハビリを行っています。
対象疾患は、**脳血管障害・脳外傷・脳腫瘍・パーキンソン病**など神経変性疾患・**小児疾患**などです。

どのような障害がありますか?

失語症

話すこと、話されたことばを理解すること、文字を読むこと、字を書くことなど、ことばを操ること全体が難しくなります。
「人の言うことが理解できない」「自分の思っているように話せない」「何が書いてあるのか理解できない」「文字が書けない」



構音障害

口や舌・声帯など声を出すのに重要な役割を果たす部位に障害が生じ、声が出にくかったり、呂律が回らず正しい発音が出来なくなるといった「話しことば」だけの障害です。



摂食・嚥下障害

疾病や老化などの原因により、食べること・飲み込むことが困難になる障害です。例えば、食べるとむせる、食べ物がつかえる、食べ物が口からこぼれるなどの症状があります。



言語訓練

失語症のある方に対し実施します。

◎聞いた内容を理解する訓練



歯ブラシはどれですか?

これです。

と・・・と・・・とまと?

◎ことばを思い出す(話す)訓練



これは何ですか?

◎文字を書く訓練



◎読む訓練



嚥下訓練

摂食・嚥下障害のある方に対し、実施します。嚥下訓練には、食物を用いない訓練と、実際に食物を摂取する過程で行う訓練があります。様々な訓練方法がありますが、今回は食事場面における姿勢の調整についてご紹介します。

調整前

テーブルの高度が高い
腕がテーブルにのっていない

あごが上がっている

テーブルの高度は、腕をのせて
肘が90度に曲がる程度

あごは引き気味

足が床についでいない

椅子の座りが浅い

椅子の高度は膝が
90度に曲がる程度

背もたれのある椅子に
深く腰掛ける

足は床につける(床につかない
場合は台などを置く)